

オーディオ実験室収載

アースアキュライザーの導入(9)(HP 収載)

–DAC と仮想アースの接続(1)–

1. 始めに

前報(8)に引き続き、DAC と仮想アースの接続に使用してみます。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

今回は、DAC である Brooklyn DAC+と Crystal E の接続に使用してみます。現在は Crystal E 付属のアースケーブルですが、これをアースアキュライザーに置き換えます。

Brooklyn DAC+は入力系統が多様ですが、今回は常時使用している、下記の入力について試聴します。

音源は下記を使用します。

ZANDEN Model 120 からの LINE 入力

アナログ

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

DA-3000 からの SDIF 入力

STAGE+

J.S.バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリスヤン・ソンス指揮ベルリンフィル

fidata HFAS1-S10 からの USB 入力

fidata HFAS1-S10 収納 11.2MHz DSD ハイレゾファイル音源

ステレオサウンド SSHRB-004

ロイヤルバレエ ガラコンサート

エルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団

Spotify Connect

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲集

Harietto Krijgh (チェロ)

Candida Thompson 指揮 Amsterdam Synfonietta

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

Brooklyn DAC+と Crystal E の接続の Crystal E 付属のアースケーブルをアースアキュライザーに置き換えますと次のようになりました。

アナログのバッハの *Sonatas & Partitas* は、単なる LINE 入力ですが、ヴァイオリンが滑らかになり、丁寧に弾いているように感じます。但し、効果の程度はフォノイコライザーと仮想アースの接続ほどではありませんが、双方に使用するとどうなるか期待が持てます。

STAGE+の.バッハのクリスマスオラトリオは、冒頭のティンパニの連打、合唱やソリストの歌唱などの環境音がこれまでで最もリアルであり、古楽器の質感も向上しています。こういった大編成の曲では、アースアキュライザーの効果をもっとも享受できる印象です。

ベルリンフィルデジタルコンサートホールのリストのピアノ協奏曲 1 番は、緻密なオーケストラをバックに、スタンウェイの高音のきらめきと左手の低音の沈み込みがこれまで以上に目立ってきています。

11.2MHz DSD ハイレゾファイル音源のロイヤルバレエ ガラコンサートは、弦や木管が滑らかになり、アナログマスターからリマスタリングしたハイレゾらしい広大な音場感が蘇っています。

Spotify Connect のヴィヴァルディのチェロ協奏曲は、チェロの質感が向上し、バックの Amsterdam Synfonietta のバロックアンサンブルの細かい表情が分かるようになり、とてもロスレスでない配信音源とは思えません。

以上のようにアナログ再生とデジタル再生のほとんどが Brooklyn DAC+を經由していますので、Brooklyn DAC+と Crystal E の接続にアースアキュライザーを優先的に使用することが良さそうです。

4. まとめ

Brooklyn DAC+と Crystal E の接続の Crystal E 付属のアースケーブルをアースアキュライザーに置き換えた効果を認めました。

以上